

1 (5) 完答

(1)	イ	(2)	特別	(3)	イ	(4)	ウ
-----	---	-----	----	-----	---	-----	---

(5)	イ	→	ア	→	ウ	→	エ	(6)	Y	(7) ①	ク	②	イ
-----	---	---	---	---	---	---	---	-----	---	-------	---	---	---

2 (1), (2), (6), (7) 各順不同完答

(1)	ア	と	エ	(2)	ア	と	ウ	(3)	128	g	(4)	250	回	(5)	1.2	A
-----	---	---	---	-----	---	---	---	-----	-----	---	-----	-----	---	-----	-----	---

(6)	A, D	(7)	B, E	(8)	F	(9)	D	(10)	200	回
-----	------	-----	------	-----	---	-----	---	------	-----	---

3 (1) 完答

(1) ①	ウ	②	エ	(2)	ア	(3)	ウ	(4)	ウ
-------	---	---	---	-----	---	-----	---	-----	---

(5) ①	ウ	②	ア	(6)	ウ	(7)	ア	(8)	ウ	(9)	エ
-------	---	---	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

4 (1) ①漢字 2 字指定 ②ひらがな 2 字指定

(1) ①	地	球	②	か	げ	(2)	イ	(3)	ア	(4)	イ
-------	---	---	---	---	---	-----	---	-----	---	-----	---

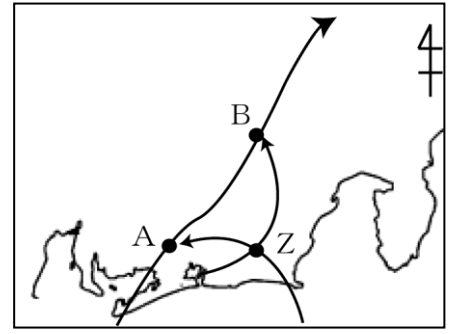
(5)	ア	(6) ①	イ	②	エ
-----	---	-------	---	---	---

[配点] 1~3 : 各 3 点 × 28 = 84 点

4 : 各 2 点 × 8 = 16 点 (合計) 100 点

1

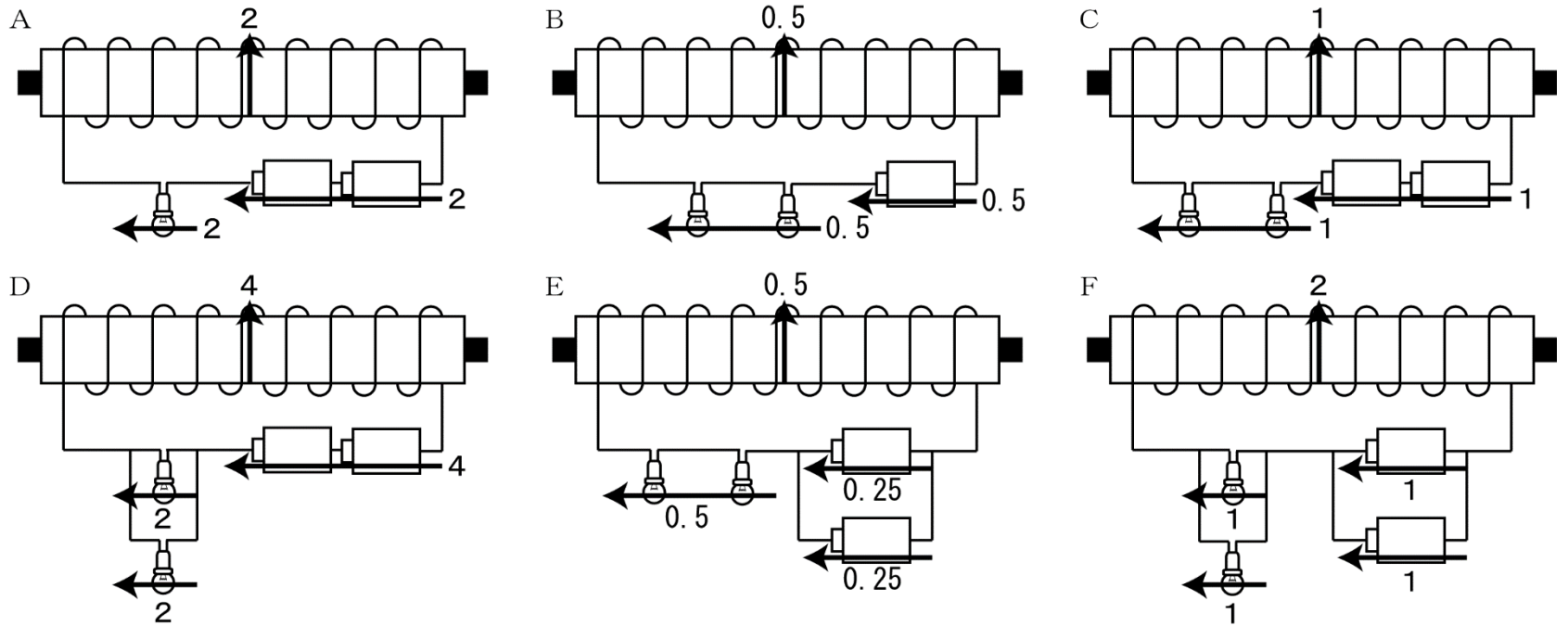
- (1) 津波は地震の被害である。 (5) 台風は北上してから東へ向かっていく。
 (6) 台風の進行方向の右側の風が強い。
 (7) 右の図より、台風が中心がAの位置にあるときは地点Zには南東の風がふき、台風が中心がBの位置にあるときは地点Zには南西の風がふく。



2

	巻き数	電流	鉄片		巻き数	電流	鉄片
基準	100 回	1 A	80 g	基準	100 回	1 A	80 g
	↓×0.8	↓×2	↓×0.8×2		↓× <u>2.5</u>	↓×0.8	↓× <u>2.5</u> ×0.8
(3)	80 回	2 A	<u>128</u> g	(4)	<u>250</u> 回	0.8 A	160 g
	巻き数	電流	鉄片		巻き数	電流	鉄片
基準	100 回	1 A	80 g		100 回	1 A	80 g
	↓×1.5	↓× <u>1.2</u>	↓×1.5× <u>1.2</u>				
(5)	150 回	<u>1.2</u> A	144 g				

A～Fの回路の豆電球、かん電池、電磁石に流れている電流の大きさは次のとおりになる。



- (8) Aの電磁石の磁力の大きさを2としたとき、B～Fの電磁石の磁力の大きさは、Bが0.5、Cが1、Dが4、Eが0.5、Fが2となる。
 (9) Aのコイルの巻き数が2倍になると、磁力は2倍になり $2 \times 2 = 4$ となる。
 (10) Bのコイルの巻き数が4倍になると、磁力は4倍になり $0.5 \times 4 = 2$ となる。Cの電磁石の磁力を2にするには、コイルの巻き数を2倍にする必要がある。

3

- (1) ア：スズメ イ：ウグイス ウ：ツバメ (夏鳥) エ：ハクチョウ (冬鳥) (5) ① イチョウ ② イロハモミジ
 (6) Aが落葉樹、Bが常緑樹である。グラフより、春先は落葉樹の成長が早い。常緑樹は冬も光合成をして、1年以上葉をつけているので、落葉樹に比べて、光合成による二酸化炭素の吸収量が多くなる。
 (7) 図2より、常緑樹の葉が重いことがわかり、常緑樹の葉は重くて丈夫であることがわかる。
 (8) 常緑樹の葉が厚いのは寒さをしのぐためなので、温暖化になると葉を厚く丈夫にする必要がなく、常緑樹にとっては余分なコスト(物を作るのに必要な材料などのこと)を減らすことができるので有利となる。

4

- (3) 満月の南中時刻は0時なので、19時16分～20時42分に月は東にある。
 (4) 日本のどこから観測しても、皆既月食が始まるのは19時16分ごろである。
 (5) 地球で夜の地域では、どこからでも皆既月食が観測できる。
 (6) ①と②の時刻はそれぞれ皆既月食が始まる前である。地球のかげによって、満月がだんだん隠れていく途中である。①と②の時刻のころは、満月は右上に動いているので、地球のかげによって満月の左下から隠れていく。